

令和2年度（令和元年度決算）

# みやき町教育委員会 事務事業評価報告書

みやき町教育委員会

## 令和2年度（令和元年度決算）事務事業評価に係る事業一覧表

### 【学校教育課】

事業名	ページ数
○ 義務教育施設環境整備事業	1
○ 学校施設改修事業	2
○ 原子力・エネルギー教育支援事業	3
○ 外国語指導助手配置業務事業	4
○ JFAこころのプロジェクト事業	5
○ 町教育委員会研究指定校委嘱事業	6
○ 教育委員会活動事業	7
○ 特別支援教育支援員配置事業	8
○ スクールカウンセラー事業	9
○ スクールソーシャルワーカー事業	10
○ 学力向上支援体制確立対策事業	11
○ ICT支援体制確立対策事業	12
○ 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	13
○ 育英資金貸付基金事業	14
○ 学校給食費補助事業	15
○ 学校給食センター事業	16

### 【社会教育課】

事業名	ページ数
○ 青少年健全育成事業	17
○ まちづくりいきいき女性クラブ事業	18
○ 放課後子ども教室事業	19
○ 生涯学習事業	20
○ 図書館事業	21
○ 文化財保護事業	22
○ 九州及び全国競技大会出場補助事業	23
○ 町体育協会補助事業	24
○ 町民体育大会実行委員会補助事業	25
○ 各種スポーツ大会等開催事業	26
○ 社会体育施設整備事業	27

事業名	義務教育施設環境整備事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当																			
				費目	事務局費																					
事業費 (千円)	6,188	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																			
							6,188																			
基本方針	重点目標	いきいき楽しい学校教育の推進																								
	主要施策	学校施設・設備の充実																								
事業の内容等	町内小・中学校の施設整備により児童生徒の安全・学習環境の充実に図る。																									
事業の実績等	○学校図書システム構築事業 町内小・中学校の図書室に、貸出・返却処理、検索・予約処理、状況確認、蔵書登録等の各種登録、統計資料作成、蔵書点検等を PC の簡易的な操作で可能な図書システムを導入した。																									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書システム構築業務委託 6,034,000 円</li> <li>学校図書システム保守業務 154,000 円</li> </ul> 図書保有冊数（31年度末） <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>小学校名</th> <th>冊数</th> <th>中学校名</th> <th>冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中原小学校</td> <td>12,541</td> <td>中原中学校</td> <td>10,733</td> </tr> <tr> <td>北茂安小学校</td> <td>13,968</td> <td>北茂安中学校</td> <td>11,280</td> </tr> <tr> <td>三根東小学校</td> <td>10,695</td> <td>三根中学校</td> <td>10,084</td> </tr> <tr> <td>三根西小学校</td> <td>8,561</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							小学校名	冊数	中学校名	冊数	中原小学校	12,541	中原中学校	10,733	北茂安小学校	13,968	北茂安中学校	11,280	三根東小学校	10,695	三根中学校	10,084	三根西小学校	8,561	
小学校名	冊数	中学校名	冊数																							
中原小学校	12,541	中原中学校	10,733																							
北茂安小学校	13,968	北茂安中学校	11,280																							
三根東小学校	10,695	三根中学校	10,084																							
三根西小学校	8,561																									
事業の成果等	自己評価	図書システムを導入したことにより、バーコードの読み取りで貸出返却が可能になり、児童生徒への負担が減ったことで貸出冊数が伸びている。また、操作が簡単になったことで、図書委員になりたい児童生徒や図書室へ興味をもつ児童生徒が増え利用率も向上している。																								
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	司書による蔵書点検や廃棄処理が簡易的になったことで、本の適切な管理が行えるようになり、統計データの出力により、個人ごとの貸出冊数等を児童生徒へ周知し、読書を促進する環境づくりへつながっている。バーコードの読み取りミスがあると作業が増えてしまう場合もあるため、児童生徒が操作する際の注意喚起や、マニュアルの見直し等を行ない、改善を行いたい。																								
評価委員	評価結果	意見・指摘事項																								
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	本の廃棄についてはどうしているのか。児童生徒に渡したほうがよいのではないかと。また、個人の貸出記録については、外部に出さないほうがよい。																								
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																									
	本の廃棄については、本の破損が著しく使用に耐えないものを処分している。また、個人の貸出記録については、司書教諭、図書司書補で管理しており、今後も引き続き記録管理については徹底していきたい。																									

事業名	学校施設改修事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
				費目		小学校費・中学校費		
事業費 (千円)	243,908	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
					162,400		81,508	
基本方針	重点目標	いきいき楽しい学校教育の推進						
	主要施策	学校施設・設備の充実						
事業の内容等	学校施設の老朽化等に対し改修を行う。							
事業の実績等	【中原小学校】				【三根東小学校】			
	①なかよし1組空調設備工事	658,800円	②浄化槽内原水ポンプ等取替工事	543,780円	②1プールフェンス改修工事	492,037円		
	②複合遊具・鉄棒改修工事	1,188,000円	②1特別支援教室空調設備設置工事	3,358,800円	【三根西小学校】			
	③特別支援学級インターホン設置工事	87,900円	②2高架水槽・消防用補給水槽改修工事	5,886,000円				
	④体育館照明器具取付工事	259,800円	②4プールサイトマット改修工事	4,455,000円				
	⑤南棟教室他内外壁塗装工事	864,000円	【北茂安小学校】					
	⑥消火栓ポンプユニット取替工事	2,008,800円	【中原中学校】					
	⑦南棟防水工事	40,425,000円	②5冷水器設置工事	273,240円				
	⑧放送音調調整卓・体育館音響システム更新工事	5,162,400円	②6正面玄関前足洗場排水管布設工事	495,795円				
	⑨教室カーテン取替工事	640,368円	②7フェンス等改修工事	9,667,080円				
	⑩南校舎劣化部他補修工事	291,600円	②8正面玄関ドアフロアヒンジ取替工事	297,000円				
	⑪照明改修工事	184,800円	②9体育館防水補修工事	286,000円				
	⑫木製複合遊具及び低鉄棒工事	957,000円	③0体育館音響システム改修工事	207,900円				
	⑬給食室南側舗装等整備工事	839,300円	③1体育館吊下げ式バスケットゴール撤去工事	308,000円				
	⑭窓ガラスコーティング補修工事	1,109,306円	③2屋外遊具撤去工事	190,300円				
	⑮窓枠ロック取付工事	16,500円	③3南棟防水工事	44,495,000円				
	⑯消防設備改修工事	995,830円	【北茂安中学校】					
	⑰教室カーテン取替工事	241,648円	③4旧テニスコート整備工事	140,400円				
	⑱給食室改修工事	83,820,000円	③5教室棟2F・3F南側窓ガラス改修工事	1,129,680円				
	⑲給食室機械警備センター改修工事	22,000円	③6渡り廊下改修工事	23,493,800円				
			③7プールろ過装置全自動化改修工事	8,415,000円				
事業の成果等	自己評価	各小・中学校施設については、児童生徒の安全と教育環境の充実を図ることを目的に、施設の状況に応じて改修工事や設備の更新を行っている。						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	大規模改修等については予算も含め計画的に実施し、その他学校からの要望に応じて随時対応している。						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。						
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等							

事業名	原子力・エネルギー教育支援事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	小中学校費			
事業費 (千円)	183	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				183			
基本方針	重点目標	実験を通して、エネルギーの変換を実際に体験し、エネルギー変換への興味や理解を深め、様々な発電方法を学ぶことで、エネルギーについて客観的な見方を養うことを目的としている。また、放射線に対して興味・関心を高めるとともに、正確な知識を身に付けさせる。					
	主要施策	原子力・放射線の学習に関する教材の整備を行う。					
事業の内容等	放射線の性質実験セットを整備し、原子力・放射線の学習に活用する。						
事業の実績等	<p>事業実施校：中原中学校（対象：3年生） 北茂安中学校（対象：3年生）</p> <p>事業実施年数：単年申請の11年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中原中学校：放射線検知器（52,000円） モナズ石（2,500円） 手回し発電機ゼネコン DUE（28,800円）</li> <li>北茂安中学校：放射線の性質実験セット（99,000円）</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	放射線を観察して放射線への理解を深めるために、放射線検知器、モナズ石、放射線の性質比較実験セットを整備し、放射線の授業に活用した。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	また、電気を発生させるエネルギー変換を、実験を通して大規模発電の発電方法の理解に繋げる授業を行うためにゼネコン DUE を整備し、活用した。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	外国語指導助手配置業務事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	外国青年招致事業費			
事業費 (千円)	28,292	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							28,292
基本方針	重点目標	町内児童、生徒の英語学力の向上を目指す					
	主要施策	英語圏外国人の指導にて、語学力向上と異国文化の知識習得を図る					
事業の内容等	町内小中学校に外国人指導助手（ALT）を配置して、中学校における外国語授業での日本人教諭のアシスタント及び小学校における外国語授業での指導を行い、子ども達の外国語によるコミュニケーション能力の養成を行うとともに、国際理解教育を図る。						
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度から、委託から派遣に変更した。</li> <li>・令和2年度から小学校で外国語が必修化することに伴い、令和元年度は移行措置として、3・4年生は「外国語活動」年間15時間、5・6年生は教科としての「外国語」を50時間実施している。そのため、ALTを6名に増員し、配置した。</li> </ul> <p>                     中原小 : ネパール籍女性                      北茂安小 : フィリピン籍女性                      三根東・西小 : アメリカ籍男性                      中原中 : インド籍女性                      北茂安中 : ガーナ籍女性                      三根中 : フィリピン籍女性                 </p>						
事業の成果等	自己評価	令和元年度から、派遣事業に変更したことにより、学校長から職務命令を直接できるようになり、ALTとのやり取りが容易になった。ALTを6名に増員したことにより、小学校教員の負担軽減にもつながっている。また、ALTは指導力だけでなく、コミュニケーション能力も高い人材の派遣を要望しており、学校の希望に合わせて要望していく。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	JFA こころのプロジェクト事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	1,227	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							1,227
基本方針	重点目標	夢を持つことの大切さ、夢や目標に向けて努力しようとする意識や態度を育む					
	主要施策	子どもが夢を持ち続けることができる教育の充実					
事業の内容等	<p>公益財団法人日本サッカー協会が推進するJFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業により、夢先生をみやき町立小学校に派遣し、仲間と協力することの大切さや夢をもつことの素晴らしさを伝える。</p>						
事業の実績等	<p>【実施校及び対象学年】                  中原小学校・北茂安小学校・三根東小学校・三根西小学校 6年生（7クラス）</p> <p>【派遣講師】                  夢先生：田中琴乃（新体操）、高良亮子（サッカー）、藤本主税（サッカー）                  アシスタント：安永聡太郎（サッカー）</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前半35分「ゲームの時間」                      体育館で、夢先生と児童が、協力して様々なゲームを行う。体を動かすことにより緊張をほぐしながら、クラス全体に協力すること、思いやりの心、全力で取り組むことやルールを守ることなどの大切さを伝える。</li> <li>後半55分「トークの時間」                      教室で、夢先生が「夢曲線」という自身の実体験を黒板に描きながら、困難を乗り越えて夢に挑戦した体験を話し、夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さなどを子どもたちに伝える。</li> </ul>						
	自己評価	元トップアスリートの実体験に基づく「夢の教室」を通して、夢や目標に向けて努力しようとする意識を醸成することは大変有意義なことであり、また、児童の夢や目標を認識させる場面として、非常に有用な機会である。児童や教職員からの評価も高く次年度実施の希望も多かった。					
事業の成果等	達成						
	おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	みやき町教育委員会研究指定校委 嘱事業（2ヶ年事業の1年目）		所管課	学校教育課	担当	教育総務担当
			費目	事務局費		
事業費 (千円)	206	財源	国庫	県費	地方債	その他
						一般財源 206
基本 方針	重点目標	小中一貫教育を通して、自ら考え、生き生きと活動する児童生徒を育成する				
	主要施策	主体的に生きていく児童生徒を育む教育の推進				
事業の 内容等	町教育委員会が中原校区2校（中原小学校、中原中学校）を研究指定校として委嘱し、小中の一貫した学校教育を通して、主体的に生きていく児童生徒の育成を図った。					
事業の 実績等	<p>○ 決算額 205,486 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中合同研修会の実施 小中2校による合同研究推進委員会を3回実施した。また、各研究委員会や全体研修会を開催した。</li> <li>・外部講師による指導 6月6日、9月4日の公開研究授業にて東部教育事務所指導主事から指導助言をいただいた。 8月9日には教育センターから県調査（全国調査）の分析について、データをもとに講話と指導をしていただいた。</li> </ul>					
事業の 成果等	自己評価	小中連携による自ら学びに向かう児童生徒の育成として、対話的な活動やグループ活動を取り入れて、課題解決能力を育てる授業を行った。小学校の対話的な活動では、自分の考えを図や言葉で伝え、相手に分かりやすく伝えようとする姿が見られるようになった。また、中学校では「中原4STEP」（「めあて」-「ひとり」-「みんな」-「まとめ」）を取り入れた授業により、教科の特性を生かした授業を展開することができた。生徒用アンケートからは、話し合いにより深い学びにつながった生徒や、学んだことを使う意識を高めることができた生徒が増えたことがわかった。				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分					
評 価 委 員	評価結果	意 見 ・ 指 摘 事 項				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。				
次年度 以降の 取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等					

事業名	教育委員会活動事業			所管課	学校教育課	担当	教育総務担当
				費目	委員会費		
事業費 (千円)	1,061	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							1,061
基本方針	重点目標	教育の基本方針の総合的施策の推進					
	主要施策	教育の基本方針の教育行政の推進					
事業の内容等	教育委員会の活動状況や会議運営状況等						
事業の実績等	<p>〈主な学校行事参加関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校入学式（4 / 1 2）・中学校入学式（4 / 1 1）・・・・教育委員分散しての告辞</li> <li>○ 学校訪問（年間通して、小中学校7校の訪問）・・・・教育委員全員</li> <li>○ 運動会・体育大会への参加・・・教育委員分散しての参加</li> <li>○ 文化祭・・・教育委員分散しての参加</li> <li>○ 青少年主張会・・・教育委員全員</li> <li>○ 小学校卒業式（3 / 1 9）・中学校卒業式（3 / 7）・・・・教育委員分散しての参加</li> </ul> <p>〈主な会議参加関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町定例教育委員会（年1 2回）・町臨時教育委員会（5回：6月1回、3月4回）</li> <li>○ 三神地区教育委員会連絡協議会（春と秋の年2回）</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	定例教育委員会を月1回は開催し、審議を行うことで滞りなく教育行政を推進することができた。教育委員が学校行事や社会教育事業の式典等に参加することにより、本町の教育現場の現状を把握し、教育の振興に向けた協議・指導・助言をすることができた。特に年度末には、新型コロナウイルス対策について、日々変わる状況に対応するため臨時委員会を開き、対策について様々な協議を行った。					
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	特別支援教育支援員配置事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当						
				費目	事務局費								
事業費 (千円)	15,181	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源						
							15,181						
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進											
	主要施策	特別支援教育の一層の充実											
事業の内容等	特別支援学級に在籍している児童生徒及びそれに準ずる児童生徒に対して、学校教育活動上の日常生活や学習活動上のサポートを行う。												
事業の実績等	○特別支援学級入級者の状況（R1.5.1現在）												
	学校名	知的	情緒	難聴	肢体不自由	病弱	通級	学校名	知的	情緒	難聴	肢体不自由	病弱
中原小	5	24	0	1	0	1	中原中	2	9	1	0	0	0
北茂安小	10	24	0	1	0	21	北茂安中	1	4	0	0	0	0
三根東小	2	4	0	0	0	1	三根中	5	5	0	0	0	0
三根西小	2	5	0	0	0	1	計	27	75	1	2	0	24
	○特別支援教育支援員（生活支援員）の配置状況												
	・前年度から、中原小1名、北茂安小1名、三根西小1名の計3名を増員し、配置した。												
	・中原小5名、北茂安小6名、三根東小1名、三根西小3名、中原中学校1名の計16名を配置した。												
	○通級者（まなびの教室）の状況												
	・中原小学校1名、北茂安小学校21名、三根東小学校1名、三根西小学校1名が、北茂安小学校内通級学級で週1～2回（1～2時間）程度、指導を受けている。												
事業の成果等	自己評価	特別支援学級への入級者は年々増加しており、前年度から比べると知的は8名、情緒は18名増加していることから、支援員を増員し、各学校の状況に合わせ配置した。											
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	支援を要する児童生徒が、安全で安心して学校生活し、落ち着いて学習ができるように対応しているが、教育的ニーズは個人により異なり、個々に応じた支援が必要になる。 人員の確保が課題であり、年間を通じて欠員がないように努めていく。											
評価委員	評価結果	意見・指摘事項											
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。											
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等												

事業名	スクールカウンセラー事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	事務局費			
事業費 (千円)	2,151	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				716			1,435
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	豊かな心を育む教育の推進					
事業の内容等	教育相談に関して、専門的な知識・経験を有する者をカウンセラーとして配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。中学校の事業費については、県費となる。						
事業の実績等	<p><b>【相談内容】</b> 小学校においては、児童では友人関係、教職員では発達障害等や心身の健康等、保護者では不登校傾向児童に係る相談が多かった。中学校においても、不登校傾向生徒に係る相談が多く、生徒自身は、友人関係や進路に関する相談が多い。</p> <p><b>【相談件数】</b> 小学校 333件（児童149 教職員98 保護者86 他0）－町費－ 中学校 238件（生徒81 教職員115 保護者40 他2）－県費－</p> <p><b>【その他取組み】</b> 各小中学校において、教員及び保護者に対し、カウンセラーによる研修会を年1～3回行った。</p>						
事業の成果等	自己評価	学校における教育相談においては、児童生徒、教職員、保護者からの多種多様な相談に対し、心理面でのカウンセリングを行い、ケース別の適切なアドバイスにより、問題の解決をサポートすることで、相談者の心の安定につながっている。					
	達成 <b>おおむね達成</b> やや不十分 不十分	昨年度に比べると中学校の配置時間数に変更はなかったが、小学校の配置時間数が84時間増加した。小中ともに昨年度より相談件数は増加傾向にあり、学校から配置時間増加の要望もあるため、配置時間数を増加するよう県に要望していきたい。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 <b>おおむね達成</b> やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	スクールソーシャルワーカー事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当					
				費目	事務局費							
事業費 (千円)	17	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源					
							17					
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進										
	主要施策	豊かな心を育む教育の推進										
事業の内容等	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援を行う。											
事業の実績等	○スクールソーシャルワーカー（SSW）事業は県の事業であり、今年度は下記のとおり配置となった。 ・派遣人数 1名 配当時間 500時間 SSW① 実績 498時間											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	41h	42h	50.5h	43.5h	23.5h	23.5h	41.5h	41.5h	59.5h	57.5h	56h	18h
事業の成果等	自己評価	家庭環境が複雑化している昨今、スクールソーシャルワーカーの役割は、非常に重要である。スクールソーシャルワーカーは、学校だけでは解決できない家庭等における課題のある児童・生徒の情報を学校と共有し、学校内外の関係機関等の連絡調整を図ることができる。電話連絡、面談、家庭訪問等を繰り返す中で、個に応じた解決方法を模索し、対応している。そういった精力的な取り組みにより、児童生徒の生活環境が少しずつ変わり、不登校や登校しぶり等が徐々に改善されている。 支援体制の構築は強化されてきているが、県の配置時間が減少してきている。対応件数増加への対応とさらなる支援の充実のためにも、県への配置時間確保の要望と町費での対応を図っていく必要がある。										
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分											
評価委員	評価結果	意見・指摘事項										
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。										
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等											

事業名	学力向上支援体制確立対策事業		所管課	学校教育課	担当	教育総務担当	
			費目	事務局費			
事業費 (千円)	10,147	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							10,147
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	確かな学力を育む教育の推進					
事業の内容等	中学校に教諭補助員を配置し、生徒の学力向上及び生徒指導を行う。また、不登校対策として、教育委員会事務局で不登校児童・生徒への個別指導を行う。						
事業の実績等	<p>○配置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の直接雇用（3中学校に6名、不登校対策（事務局内勤務）1名・・・計7名の配置）</li> <li>・中原中2名（体育・国語）、北茂安中2名（理科・音楽）、三根中2名（数学社会・体育）</li> </ul> <p>○実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教科でTTを実施し、T2の役割を担うことで学習支援を行った。</li> <li>・支援を要する生徒に対し、学校教育活動上の日常生活や学習活動上のサポートを行った。</li> <li>・不登校児童生徒対策として、教育委員会に『フリースクール』を開校し、不登校児童・生徒の受け入れを行い、個別指導を通じて、通学者の学校・社会への適応力の醸成を図った。</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	教諭補助を配置し、T2として学習支援を行うことで、一人一人の学習内容に応じた支援・対応を行い、また、問題行動等においても支援を行うことで、教員の負担軽減につながっている。					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	フリースクールには14名の児童生徒が来ており、不登校の児童生徒の居場所になっている。また、少しずつではあるが、学校に行くことができるようになっている児童生徒もおり、効果は表れている。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	ICT支援体制確立対策事業			所管課	学校教育課	担当	教育総務担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	7,808	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							7,808
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	確かな学力を育む教育の推進					
事業の内容等	授業におけるICT利活用を円滑に進める環境づくりとして、教員のICT活用を支援する。 ICT支援員を配置することによりサポート体制の充実を図る。						
事業の実績等	<p>○配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の直接雇用（3校区に各1名の配置・全校区対応職員として1名配置）</li> </ul> <p>○実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板やタブレット端末の利活用の支援を行った。</li> <li>・授業や研修の開始前に機器やソフトウェアを設定したり、授業中や研修中に操作したり、操作方法を説明するなどの指導をしている。</li> <li>・教職員の出退勤管理システムの作成。</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	教職員の出退勤管理システムの作成に取り組み、令和2年度から使用できるように実証試験を行った。近年、教員にはICT活用指導力が求められており、ICT利活用のスキル向上は急務であるが、利活用できていない教員も多く、なかなか進んでいない。そのような中で、ICT分野で教員の支援を行うことができるICT支援員の役割は重要度を増している。					
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	ICT利活用については、今後も重要となっていくので、教職員のスキル向上のため、研修に取り組んでほしい。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						
	今後もICT支援員を確保し、教職員のICT利活用に向けての研修を行い、スキル向上に努めていきたい。						

事業名	要保護・準要保護児童生徒 就学援助事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	小中学校費			
事業費 (千円)	11,343	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			6				11,337
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備					
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進					
事業の内容等	学校教育法第19条に基づく、経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施に資する。						
事業の実績等	【要保護児童生徒】						
	・小学校 4名 中学校 3名 計 7名						
	・修学旅行費（実費）のみの支給 支給総額 小学校 13,829円 中学校 0円						
	【準要保護児童生徒】						
	・小学校 73名 中学校 66名 計 139名						
・認定者数はここ数年は減少傾向である。							
	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
	157名	165名	157名	161名	155名	159名	159名
	H23年度	H22年度	H21年度	H20年度			
	161名	150名	140名	118名			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学用品費等、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品費、医療費、学校給食費を支給。費目によっては、実費負担額支給をするが、限度額がある費目もある。</li> <li>・支給総額 小学校 4,445,685円 中学校 5,625,783円</li> <li>・次年度就学予定者の新入学児童生徒学用品費については、入学前支給を実施し入学時期の経済的負担軽減を図った。</li> </ul> <p>新入学対象者22名（小学校 7名 357,420円 中学校 15名 900,000円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、2月の町広報で申請のお知らせをしている。新1年生については、就学時健康診断時に、チラシを配付している。随時申請も受け付けている（扶助費は月割）</li> </ul>							
事業の成果等	自己評価	準要保護児童生徒の認定者数について、ここ数年は減少傾向にあり、H27年度から実施を開始した学校給食費補助事業や世帯状況の変化等が影響していると考えられる。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	今後も制度の周知を図り、就学援助事業を活用しながら、家庭教育力向上及び、校納金等の未納を減少できればと思っているところである。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	育英資金貸付基金事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当				
				費目	事務局費						
事業費 (千円)	6,040	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源				
						6,040					
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備									
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進									
事業の内容等	育英助長の必要があると認める本町に住所又は本籍を持つ優秀な高等学校または大学等に在学（進学）する者の中で、勉学等に意欲があり、経済的理由により学資の支弁が困難である者に対して修学上必要な資金として貸し付ける。										
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大学生等 月額40,000円以内 / 高校生等 月額20,000円以内 の貸付</li> <li>○ 貸付期間は当該学年から正規修業時まで 利率は無利子</li> <li>○ 基金及び貸付者等の状況 (単位：千円、人)</li> </ul>										
		積立金	返済額	既認定者		申請者		認定者		貸付額	残額
				高校	大学	高校	大学	高校	大学		
	平成26年度	0	2,106	1	4	0	3	1	7	1,800	3,540
	平成27年度	0	1,087	0	5	2	4	2	8	3,000	1,627
	平成28年度	2,000	1,861	2	5	0	2	2	7	3,000	2,488
	平成29年度	3,000	1,551	2	6	3	8	4	11	5,160	1,879
	令和元年度	3,000	2,066	3	8	0	4	3	12	6,040	3,179
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成20年度より貸付を開始している。みやき町育英資金運用委員会（委員5名）にて、採用者の決定を行っている。令和元年度は5/30に開催し、大学生4名の採用をした。</li> <li>○ 返済については、平成24年度より3名、25年度より1名、26年度より3名、27年度より3名、28年度より3名、30年度より3名、元年度より2名の償還が始まった。6年以内（27年度貸付者からは8年以内）で月賦又は年賦で返済する。12名は返済完了している。</li> </ul>											
事業の成果等	自己評価	令和元年度申請については、大学生4名の申請であった。選考においては育英資金運用委員会において、勉学意欲、学資の支弁が困難であるか、世帯の状況、その他総合的判断に基づき決定した。申請者においては、日本学生支援機構奨学金や他の育英資金貸付との兼ね合いを見ながら申請されている。募集については、町広報やホームページにおいて周知している。基金額状況としては返済が開始しても貸付の方が多いので、積立等をしながら基金を賄っている状況である。									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分										
評価委員	評価結果	意見・指摘事項									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。									
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等										

事業名	学校給食費補助事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
				費目		事務局費		
事業費 (千円)	77,523	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
						35,218	42,305	
基本方針	重点目標	子育て世代が抱えている経済的負担を軽減し、定住促進に寄与する。						
	主要施策	小中学校に在学する児童生徒のうち、第1子・第2子を半額補助、第3子以降を全額補助する。						
事業の内容等	同一世帯で18歳に達する日以降の最初の4月までの間にある子供の数でカウントし、小中学校に在学する児童生徒の給食費を1人目と2人目は半額を、3人目以降は全額を補助している。平成30年度から当面の間、ふるさと寄付金活用事業として1人目と2人目についても、半額の追加補助を実施することにより完全無償化を実施している。子育て世代が抱えている経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境の整備を図り、もって定住促進に寄与することを目的とした事業。							
事業の実績等	【学校別対象者数及び金額】							
	【一般会計】				【ふるさと寄付金】			
	中原小学校	352人	8,601,249円	中原小学校	322人	6,745,453円		
	北茂安小学校	468人	11,313,134円	北茂安小学校	422人	8,927,084円		
	三根東小学校	145人	3,662,270円	三根東小学校	122人	2,638,174円		
	三根西小学校	169人	4,105,372円	三根西小学校	146人	3,094,151円		
	中原中学校	155人	4,335,447円	中原中学校	164人	4,158,212円		
	北茂安中学校	207人	5,435,391円	北茂安中学校	205人	5,283,132円		
	三根中学校	147人	4,034,623円	三根中学校	145人	3,741,102円		
	町立外小学校	22人	378,797円	町立外小学校	19人	255,395円		
	町立外中学校	37人	373,072円	町立外中学校	35人	309,638円		
	特例対応	4人	65,216円	特例対応	4人	65,219円		
	合計	1,706人	42,304,571円	合計	1,584人	35,217,560円		
事業の成果等	自己評価	通常補助対象児童生徒 1,706名、ふるさと寄付金補助対象児童生徒 1,584人に学校給食費を補助することで、子育て世帯の経済的負担を軽減し、定住促進、子育て支援につなげた。						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分							
評価委員	評価結果	意見・指摘事項						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。						
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等							

事業名	学校給食センター事業			所管課	学校教育課	担当	学校給食担当																		
				費目	給食センター費																				
事業費 (千円)	77,408	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																		
							77,408																		
基本方針	重点目標	児童及び生徒の心身の健全な発達に資する給食の提供																							
	主要施策	栄養バランスのとれた豊かな学校給食の提供																							
事業の内容等	小学校2校・中学校2校、一食あたり小学生245円・中学生294円で年間181回の給食を提供し、単独校3校に炊飯を提供した。																								
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食物アレルギーに対する除去食・代替食を提供した。(小学生 3名 中学生 2名)</li> <li>○ 食の安全を徹底するために、調理員の衛生管理研修を実施した。(7月26日)</li> <li>○ 安心・安全な給食提供のため、地元野菜の供給を推進した。</li> <li>○ 下記のとおり給食を提供した。また、中原小学校、北茂安小学校、北茂安中学校に炊飯を提供した。</li> <li>○ 施設・設備の老朽化に伴い地下ピットの配管改修(3,964千円)を行い、また職場環境改善として空調設備の増設(18,349千円)を行った。</li> </ul>																								
	<b>【学校給食センター】</b> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>提供数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中原中学校</td> <td>217</td> </tr> <tr> <td>三根東小学校</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>三根西小学校</td> <td>203</td> </tr> <tr> <td>三根中学校</td> <td>187</td> </tr> <tr> <td>給食センター</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>792</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	提供数	中原中学校	217	三根東小学校	170	三根西小学校	203	三根中学校	187	給食センター	15	計	792	<b>【自校式】</b> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>提供数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中原小学校</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>北茂安小学校</td> <td>558</td> </tr> <tr> <td>北茂安中学校</td> <td>266</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,274</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	提供数	中原小学校	450	北茂安小学校	558	北茂安中学校	266	計
学校名	提供数																								
中原中学校	217																								
三根東小学校	170																								
三根西小学校	203																								
三根中学校	187																								
給食センター	15																								
計	792																								
学校名	提供数																								
中原小学校	450																								
北茂安小学校	558																								
北茂安中学校	266																								
計	1,274																								
事業の成果等	自己評価	衛生管理を徹底し、食中毒等の事故も無く、充実した給食内容を提供できたが、コロナウイルスによる学校の休校により給食の提供回数が減った。異物の混入が数回あり、その都度原因を特定し、改善を行った。職場環境の改善として空調設備の増設や施設の改修を行い、円滑な業務が出来るように改善した。																							
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分																								
評価委員	評価結果	意見・指摘事項																							
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。																							
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																								

事業名	青少年健全育成事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	5,396	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						1,995	3,401
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成					
	主要施策	青少年の体験活動の充実及びサポート隊組織強化と活動の充実					
事業の内容等	青少年健全育成指導員や青少年育成町民会議と連携し、地域での青少年育成や青少年サポート隊活動による子どもたちの安全安心な環境づくりに取り組む。						
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年健全育成指導員を、各地区1名の計57名に委嘱し、校区ごとに月1回程度指導員会議を開催した。会議の中では地域ごとの活動状況や懸案事項、課題等を話し合い、青少年の健全育成に向けて意見・情報の交換を行った。また、青少年健全育成指導員が主体となって地区懇談会を開催し、児童生徒の状況や学校の取組についての報告、教育委員会の事業説明等を行い、地域住民との意見交換を実施した。（23地区実施）</li> <li>・青少年育成町民会議と連携し、青少年を対象に地区で取り込まれる体験活動やふれあい交流活動に対して助成を行う「青少年育成地区活動補助事業」を実施した。（50地区助成）</li> <li>・小中学生が日頃感じていることや将来の夢等を発表する小中学校交流主張会を、保護者や地域住民の参加を得て11月に校区ごとに開催した。また、主張原稿をまとめた「少年の主張」文集を作成し、各世帯に配布することで住民に対する広報、啓発を図った。</li> <li>・青少年サポート隊による登下校時の立番や防犯パトロールを実施した。また、地区での青少年サポート隊の活動に対して補助金を交付した。</li> <li>・総会や地区隊長会議を通じて青少年サポート隊の組織強化を図った。また、地区隊長を対象に長崎市への先進地視察を行い、見聞したことを更なる活動の充実に活かしている。</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	地域における子ども達の体験活動やふれあい活動を推進することにより、子どもと大人の結びつきを深め、地域ぐるみで青少年を育てようとする意識を高めることができた。また、青少年サポート隊の活動により、登下校時の交通事故や子どもたちが巻き込まれる犯罪事案の未然防止につながることができた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	まちづくりいきいき女性クラブ 事業		所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
			費目	社会教育総務費			
事業費 (千円)	3,304	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						522	2,782
基本 方針	重点目標	地域住民の交流を図り親睦と連携の強化					
	主要施策	女性活動・町民協働支援の推進					
事業の 内容等	<p>地域が一体となり共に支えあう福祉社会の形成及び女性の視点に立った魅力ある住みよいまちづくりの実現を図るため、各行政区に、まちづくりいきいき女性クラブ地区推進員を置き、その活動に対して助成金を交付する。</p>						
事業の 実績等	<p>○令和元年度地区推進員登録状況 42 地区 47 名登録（400 世帯を超える行政区は、1 名増員可） ・中原校区 10 地区 13 名 ・北茂安校区 16 地区 18 名 ・三根校区 16 地区 16 名</p> <p>○活動内容 ・交流事業 女性の集い 茶話会 そうめん流し DVD 上映会 ジャズコンサート 等 ・各種教室 そば打ち教室 廃油石鹸作り 手芸教室 味噌作り 茶道教室 等 ・奉仕活動 公民館・納骨堂清掃 地区花壇の花植え スズメバチ捕獲器作り 等 ・研 修 鳥栖警察署講話 環境福祉課出前講座 リサイクルプラザ見学 等 ・地区行事サポート 敬老会 体育大会の弁当作り 区民祭手伝い 等</p>						
事業の 成果等	自己評価	<p>推進員を中心に様々な交流活動や研修会、奉仕活動等が行われ、女性だけでなく、男性、子ども等も参加して地区住民の親睦と連携の強化がなされた。また、地区行事の際には女性クラブによって準備や運営、片付けのサポートがなされ、行事等の円滑な実施と地区の活性化が図られたことで、事業目標が達成できたと考える。</p> <p>町全域 57 地区の内、42 地区の設置であり、前年度から 2 地区の増となっている。</p>					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評 価 委 員	評価結果	意 見 ・ 指 摘 事 項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度 以降の 取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	放課後子ども教室事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	714	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				466			248
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成					
	主要施策	総合的な放課後子どもプランの実施および活動の推進					
事業の内容等	<p>校区ごとに、スポーツ、手芸、英会話等の教室を実施し、多様な体験活動の機会を充実させ、子どもたちの心豊かな成長を育むことを図る。さらに、地域住民の参画を得ることにより、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを推進する。</p>						
事業の実績等	<p>○ 5月～翌年2月にかけて土曜日の午前中に、中原風っ子元気スクール（全10回）、茂安っ子いきいきスクール（全9回）、三根わくわくスクール（全10回）を各校区において実施した。また、夏休み期間中も各校区において夏休み子ども教室を実施し、地域住民の参画を得て様々な体験活動を行った。</p> <p>○ 教室内容：スポーツ、英語、木工、囲碁・将棋、ハンドベル、遊んじゃ王（昔遊びや体験活動等）等</p>						
	放課後子ども教室名		土曜日子ども教室開催回数	夏休み子ども教室開催回数	参加者数	延べ参加者	
	中原風っ子元気スクール		10回	13回	313名	876名	
	茂安っ子いきいきスクール		9回	15回	177名	398名	
	三根わくわくスクール		10回	14回	136名	392名	
計		29回	42回	626名	1,666名		
事業の成果等	自己評価	放課後子ども教室の実施により、子ども達の安全で健やかな居場所を提供するとともに、日頃学校では体験できない様々な活動を通じて心豊かな育成の一助とすることができた。また、活動において高学年児童が低学年児童を手助けする場面もあり、異年齢間の交流を図るとともに、指導者として参加していただいた地域住民との交流も深めることができた。さらに、夏休みには三校区合同で開催した教室もあり、校区間の児童の交流も図ることができた。					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	生涯学習事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
				費目	公民館費			
事業費 (千円)	651	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
							651	
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と高齢者の生きがいづくり						
	主要施策	生涯学習の環境づくり						
事業の内容等	住民の多様化する学習ニーズに対応して、各種教養講座や教室を実施し、住民の教養の向上、健康増進並びに高齢者の生きがいづくりを推進する。							
事業の実績等	各会場における公民館事業の実施状況							
	会場	事業の種類			回数	参加者数（人）		
						男	女	計
	中原会場	みやき塾（中原編）、風カレッジ、パソコン講座			17回	64	241	305
	北茂安会場	みやき塾（北茂安編）、歴史発見講座、エコクラフトバッグ作り教室、テディベア教室、パッチワーク教室、パソコン教室（エクセル初級・中級）、スマートフォン（iPhone）活用教室			29回	181	445	626
	三根会場	みやき塾（三根編）、生きがい講座			7回	21	185	206
計				53回	266	871	1,137	
事業の成果等	自己評価	各種講座・教室を開催し、生涯学習の情報提供、環境づくりに努めた。参加者の大半は高齢者であり、そのニーズに対応する講座を多数実施することで、高齢者が生涯を健康で生きがいを持って生活できるよう支援することができた。また、講座ごとにアンケートを実施し、参加者の満足度と学習ニーズの把握に努めている。						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分							
評価委員	評価結果	意見・指摘事項						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。						
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等							

事業名	図書館事業			所管課	社会教育課	担当	図書館担当
				費目	図書館費		
事業費 (千円)	5,700	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						500	5,200
基本方針	重点目標	社会教育の振興、歴史や文化の情報発信					
	主要施策	生涯学習施設としての機能を果たす図書館づくり					
事業の内容等	子育てしやすい町にふさわしい児童図書の充実と支援、健康長寿のまちとして町民個人の自立を支援するため、図書館と各校区図書室の資料の充実と連携を目指す						
事業の実績等	○ 蔵書構成						
		一般書	児童書	AV資料	雑誌	合計	
	31年度末	49,858	21,839	1,636	2,544	75,877	
	内31年度受入分	(1,972)	(1,119)	(46)	(473)	(3,610)	
	○ 貸出実績						
		開館日数	館外貸出人員	館外貸出冊数	1日平均貸出冊数		
	町立図書館	260日	21,034人	100,586点	386点		
	こすもす館	182日	2,014人	6,785点	37.2点		
	改善センター	221日	552人	1,740点	7.9点		
	○ リクエスト、レファレンスサービス						
・ リクエスト 予約件数 2,639件 ※							
・ レファレンス 278件 (読書相談、調べものに対応)							
※貸出中資料については予約処理、未所蔵資料については購入及び県内図書館より借受で対応							
○ 児童・生徒への支援として、司書が選ぶ「おすすめの本30冊」を作成。小学校1年生・2年生と中学生以上のおすすめ本をリスト化し、みやき町内の対象児童・生徒へ配布した。図書館内に特設コーナーを設置、貸出増に繋がった。							
○ 3月後半よりコロナウイルス感染拡大防止の観点から図書館・図書室を休館。この休館を利用し、こすもす館図書室の資料整理と資料配置のリニューアルを行った。町立図書館より資料を移管し、見やすい・探しやすい書架づくりを行った。							
事業の成果等	自己評価	1番の成果は、町立図書館の館外貸出冊数が初めて10万冊を超えたことである。特に「個人貸出」の伸びが大きく、1年を通して図書館イベントを仕掛けていること、乳幼児向け・児童・生徒向けの支援を行ったことが貸出増に繋がったと推測する。図書購入費が増額したことで、こすもす館図書室・改善センター図書室も定期的に新刊が購入できたため、定期的な本の入替を行いながら貸出増に繋げていきたい。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	文化財保護事業		所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
			費目	文化財保護費			
事業費 (千円)	22,087	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			3,430	1,234		4,432	12,991
基本方針	重点目標	開発と埋蔵文化財の調整及び保護、史跡維持管理、その他業務の推進					
	主要施策	開発把握の徹底、史跡の活用、文化財の啓発活動の推進					
事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開発を事前に把握し埋蔵文化財の有無を確認する確認調査事業</li> <li>・ 確認調査の結果検出された重要な遺跡について、より詳細に内容を把握し、遺跡の記録保存を図るための本調査事業</li> <li>・ 県・町指定史跡の維持管理事業</li> <li>・ 文化財の啓発活動事業など</li> </ul>						
事業の実績等	<p>○令和元年度文化財保護法第93・94条第1項による開発届出処理件数：127件          確認調査実績件数：63件（63件中、14件で遺跡を確認し、2件が本調査へ移行。その他は設計変更等により遺跡が保存された。）</p> <p>○本調査実施（町単独・受託事業）          宅地造成に伴う姫方原遺跡H区、町道建設に伴う板部城跡及び賃貸住宅建設に伴う一の幡古墳群の発掘調査を行った。また、平成28年、29年度実施の町内遺跡確認調査、大園遺跡3、4区、三浦遺跡、西寒水四本柳遺跡13区の整理作業を実施し、報告書作成を行った。</p> <p>○県指定史跡—4ヶ所、町指定史跡—2ヶ所の維持管理業務を実施した。</p> <p>○歴史講座等の町民に向けた講座を開催し、文化財への啓発活動を行った。          歴史講座—全8回で、参加者総計371名（前年度—全8回、参加者総数473名）</p>						
事業の成果等	自己評価	<p>開発に伴う確認調査を実施することにより、埋蔵文化財保護と開発との調整を図ることができた。</p> <p>本調査において、板部城跡からは新たに弥生時代の集落跡が確認されるなど、みやき町の歴史を知るうえで重要な成果を上げることができた。</p> <p>史跡維持管理事業では、除草作業を行い、景観美化に努めるとともに、見学者の利便性を高めることができた。</p> <p>啓発活動の歴史講座については、ほぼ毎回50名近い参加があり、郷土の文化財や佐賀県の歴史について理解を深めていただき、地域活性化の一助となるよう努めることができた。</p>					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	九州及び全国競技大会 出場補助事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当	
			費目	保健体育費			
事業費 (千円)	746	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							746
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	競技スポーツの振興					
事業の内容等	本町内に在住する者が九州地区又は全国競技大会に出場する場合に予算の範囲内において補助金を交付し出場者の負担軽減を図り社会体育の振興に寄与する。						
事業の実績等	<p>○ 国際大会 野球（アメリカ イリノイ州1名） 50千円</p> <p>○ 全国大会 サッカー（神奈川県3名） テニス（神奈川県2名） 剣道（東京都11名） レスリング（静岡県1名） チアダンス（東京都1名） 剣道（兵庫県8名） 剣道（熊本県8名） 水泳（静岡県1名） バウンドテニス（東京都3名） フィギュアスケート（東京都1名） 9人制バレーボール（大阪府1名） ソフトテニス（和歌山県1名） 小計 41名（大人10名、高校生以下31名） 621千円</p> <p>○ 九州大会 ハンドボール（鹿児島県3名） 水泳（鹿児島県1名） 剣道（福岡県2名） 体操（熊本県1名） 水泳（長崎県11名） テニス（熊本県2名） 小計 20名（大人7名、高校生以下13名） 75千円</p> <p>合計 のべ62名 746千円（前年度99名 1,152千円）</p>						
事業の成果等	自己評価	前年度と比較して人数で37名、金額で406千円の減少となっており、昨年と比べ新規申請者が少なかったように思われる。本事業は成績を残した競技が団体か個人か、また大会が実施された地域によって異なってくるものであるが、今年度においては国際大会に出場した選手もあり、多くの出場者の負担軽減を図ることができたと考える。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	町体育協会補助事業			所管課	社会教育課	担当	社会体育担当																																
				費目	保健体育費																																		
事業費 (千円)	3,500	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																																
							3,500																																
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興																																					
	主要施策	競技スポーツの振興																																					
事業の内容等	町体育協会に加盟する各種目団体(16 団体)が行う大会・講習会等、PR及び各種目団体が事業を行った場合の事業費の一部補助、また、県民スポーツ大会出場者の募集及び選手派遣費等の補助を行う。																																						
事業の実績等	<p>○ 専門部事業実施回数</p> <table border="0"> <tr> <td>・剣道部</td> <td>2回</td> <td>・陸上部</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>・野球部</td> <td>1回</td> <td>・卓球部</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>・バレーボール部</td> <td>4回</td> <td>・ソフトボール部</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>・バドミントン部</td> <td>2回</td> <td>・柔道部</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>・ゲートボール部</td> <td>9回</td> <td>・グラウンドゴルフ部</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>・テニス部</td> <td>5回</td> <td>・ゴルフ部</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>・相撲部</td> <td>2回</td> <td>・水泳</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>・ボウリング部</td> <td>2回</td> <td></td> <td>計 44回</td> </tr> </table> <p>○ 県民スポーツ大会実績 総合順位 町の部 第5位（昨年3位）</p> <p>主な結果（町の部） 準優勝 ゴルフ部 3位 4種目（野球A・B、バドミントン男子、テニス部女子、陸上【砲丸投げ 女子】3位）</p>							・剣道部	2回	・陸上部	1回	・野球部	1回	・卓球部	1回	・バレーボール部	4回	・ソフトボール部	3回	・バドミントン部	2回	・柔道部	3回	・ゲートボール部	9回	・グラウンドゴルフ部	6回	・テニス部	5回	・ゴルフ部	2回	・相撲部	2回	・水泳	1回	・ボウリング部	2回		計 44回
・剣道部	2回	・陸上部	1回																																				
・野球部	1回	・卓球部	1回																																				
・バレーボール部	4回	・ソフトボール部	3回																																				
・バドミントン部	2回	・柔道部	3回																																				
・ゲートボール部	9回	・グラウンドゴルフ部	6回																																				
・テニス部	5回	・ゴルフ部	2回																																				
・相撲部	2回	・水泳	1回																																				
・ボウリング部	2回		計 44回																																				
事業の成果等	自己評価	バレー部・卓球部及びバドミントン部がジュニア教室を開催するなど、競技人口の確保を目的とした若い世代の育成という努力をされており、計画通り推移する予定に思えたが、年度末における新型コロナウイルス感染症の影響により、3月に予定していた各専門部の事業が中止となったため、昨年と比較し回数が減った専門部がみられた。また、県民スポーツ大会においては水泳競技が会場の改修により中止という結果もあり、総合順位 5位入賞という形となったが、その他の専門部においてゴルフ部や野球部、バドミントン部、テニス部が上位に上っている。																																					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分																																						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項																																					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。																																					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																																						

事業名	町民体育大会実行委員会 補助事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当	
			費目	保健体育費			
事業費 (千円)	1,027	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							1,027
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	多様なニーズに対応できる生涯スポーツの振興					
事業の内容等	<p>スポーツ・レクリエーションを通じて町民の融和と健康づくりを図り、生涯スポーツ、地域スポーツの振興と明るく豊かな町づくりのため町民体育大会を開催する実行委員会に補助金を交付することにより大会経費の軽減を図る。</p>						
事業の実績等	<p>○ 中原校区町民体育大会 事業費 564 千円 参加延べ人数 約 1,500 人 得点種目（分館対抗競技）4 種目 リレー種目 7 種目 レクリエーション種目 10 種目で開催された</p> <p>○ 北茂安校区町民体育大会 事業費 251 千円 参加延べ人数 約 1,700 人 得点種目（分館対抗競技）5 種目 リレー種目 4 種目 レクリエーション種目 10 種目で開催された</p> <p>○ 三根校区町民体育大会 事業費 212 千円 参加延べ人数 約 2,000 人 得点種目（分館対抗競技）7 種目 リレー種目 2 種目 レクリエーション種目 6 種目で開催された</p>						
事業の成果等	自己評価	台風の影響により非常に風が強かったが、各校区会長も含め協議し実施となった。平成 29、30 年度が実施できていなかったこともあり、3 年ぶりの開催で大変盛り上がった。ただ、各分館における人口の少ない地区においては人集めに苦労されており、今後の課題もみえた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	各種スポーツ大会等開催事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当	
			費目	保健体育費			
事業費 (千円)	105	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							105
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	多様なニーズに対応できる生涯スポーツの振興					
事業の内容等	スポーツを通じて町民の融和と健康づくりを図り、生涯スポーツ、地域間スポーツの振興と明るく豊かな町づくりを目指す。						
事業の実績等	<p>○6/30(日) 第15回分館対抗女子ミニバレーボール校区大会 23チーム 284名参加(1位 中原→中原・姫方、北茂安→中西・中東、三根→新町)</p> <p>7/14(日) 第15回分館対抗女子ミニバレーボール町決勝大会 10チーム 121名参加(1位 中原・姫方、2位 新町、3位 簗原・山田)</p> <p>○9/6(金) 第13回ナイタースーパーキックベースボール大会 3チーム 38名参加(1位 西寒水・月壺クラブ、2位 豆津、3位 みやっきーず)</p> <p>○11/6(水) 登山教室(英彦山:福岡県添田町) 24名参加</p> <p>○11/6(水)~14(木) 第14回クラブ対抗女子ミニバレーボールリーグ戦 13チーム 175名の参加 (Aクラス1位 なでしこクラブ、 Bクラス1位 ビクトリーA、Cクラス1位 シスターズ)</p> <p>○11/24(日) 第7回分館対抗男子アジャタ(スポーツ玉入れ)大会 18チーム 158名の参加(1位 土井内、2位 白壁、3位 西分)</p> <p>○3/10、17、24(火) ニュースポーツ教室 ⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p>						
事業の成果等	自己評価	開催した大会・教室において、若干の参加者数の変動はあるが、多くの方にスポーツに親しんでいただいている。ルール等も浸透し、多くの競技でレベルの高い白熱した試合になっている。今後もスポーツ推進委員の協力のもと、スポーツ振興を図っていきたい。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
年度以降の取り組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	社会体育施設整備事業			所管課	社会教育課	担当	社会体育担当
				費目	保健体育費		
事業費 (千円)	4,067	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							4,067
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	社会体育施設・設備の充実					
事業の内容等	老朽化に伴う北茂安・三根体育館の暗幕及びレールの修繕や北茂安体育館消防用貯水槽の改修工事を行い、施設の機能維持を図った。						
事業の実績等	<p>○北茂安体育館暗幕改修工事 事業費 801 千円 工事内容 北茂安体育館暗幕の破れやレール破損の修繕</p> <p>○北茂安体育館消防用設備改修工事 事業費 2,182 千円 工事内容 消防用貯水槽が老朽化に伴う改修</p> <p>○三根体育館暗幕改修工事 事業費 1,084 千円 工事内容 三根体育館暗幕の破れやレール破損の修繕</p>						
事業の成果等	自己評価	計画通りに完了した。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						